いやさかNEWS

vol.11
October 10 2017

●発行：日本ボーイスカウト東京都連盟　日野第2団　●編集者：中村俊郎　●住所：東京都日野市程久保4−7−14　●ホームページ：http://www.hino2.tokyo/

２度目の夏キャンプを終えて

思えばじつに大変なキャンプだった。毎日雨が降り、スカウト達は火をつけるのにとても苦労していた。キャンプ生活を楽にするための工作にも苦労していた。チームワークなんてまったく成り立たないような始まり方をしたキャンプだった。それが最後の方では、班員の一人一人がチームとして動いていた。スカウト達は困難を乗り越えて強くなったのだ。その姿に胸が熱くなった。

ボーイ隊長になってからスカウティング（＝ボーイスカウトとして活動すること）の意味をよく考える。スカウト達にもいろんなかたちで問いかける。ボーイスカウトの活動で大事なことはなんだろう?と訊くと、「ちかいと掟」「自然の中で」とか答えてくれる。

実はボーイスカウト活動がもつべき要素は、明確な定めがある。「１．ちかいと掟」「２．チームシステム（班で活動）」「３．個人の成長（進級進歩制度）」「４．象徴的枠組み（制服や記章の着用）」「５．自然のなかで活動」「６．行うことによって学ぶ」「７．成人の支援（大人のリーダーがサポート）」の７つだ。例えば１ヶ月くらいのサイクルで活動を見るとこれら７つの要素を全て含むはずだ。なので、うえのスカウトたちの答えは結構正しく、隊長としては「よしよし」と思いながら頼もし〜く聞いている。ちなみに、ボーイスカウトのキャンプはこれらの要素を全て持っている。

ボーイ隊では「班」の存在がとても大きい。スカウトたちは、自分たちがやりたいこと、やるべきこと、ひとりひとりの役割を班会議で決める。もちろん、リーダー達はいろいろな形でちょっかいをだすが、スカウト達が出してきたものを大事にしている。なぜなら、行動するのもスカウトなら、行動の中で、あるいは行動の結果として得られる楽しみや困難を味わうのもスカウトだからだ。

ここに、スカウティングの意味、の答えがあるのではないか、ということをぼんやりと感じながら今回の白州での５泊６日のキャンプを計画した。キャンプが始まってみると冒頭述べたようにスカウト達の苦労は並大抵のものではなかった。キャンプ最終夜の晩餐会の席、スカウト達に問いかけた。またキャンプをしてみたいか?その答えから、彼らが「努力したからこそ味わえる楽しさ」を掴み取ったことを知り、スカウティングの意味を確信することができた。

最後に保護者の皆さんへ。
ボーイ隊ではこのようにスカウト達の自主性をサポートする指導をしています。指導者にならずとも、共に育てる、の精神で一緒に「成人の支援」を担ってくださる方を心待ちにしています。

平成29年9月
ボーイスカウト日野2団
ボーイ隊長　熊田　英峰

ボーイ／カブスカウト・夏キャンプ 感想文

夏キャンプ
ベンチャー隊　築城希

今回のキャンプでは、ボーイ隊の支援という形で夏キャンプに参加しました。この夏キャンプ中は大体が雨で川などに行けなくてとても残念でした。

スカウト達はキャンプ中がほとんど雨だったので薪が濡れてしまい火がつかないことに苦戦していて、いい経験をしたなと僕は思いました。

今回僕が１番楽しみにしていた日向山への登山は、あいにくの雨で頂上での美しい眺めを見ることができませんでした。

でも頂上には他の山には無い砂浜のようになっていて驚いた。晴れた日にまたもう１回登りたいなと思いました。下山した後に入った温泉では気持ちよくて疲れが取れてよかった。

次のキャンプでは今回の苦労した経験を生かしてもっといいキャンプが出来ればいいなと思います。

夏キャンプの感想
ボーイ隊　石塚愉吉

このキャンプで思ったことがあります。それは縄文人はすごいということです。マッチがなかったり、配給がなかったり、屋根がなかったり。
まあ、たいへんですね。それでも縄文人は土地を開拓し、家をつくり、狩をして文明を築いてきました。

それに対してこんかいのキャンプは屋根があり、配給があり、マッチがありました。だけど火が付かずに夕食を食べることができませんでした。このキャンプのテーマでもある「開拓」の面でも縄文人と比べるとできていなかったと思います。今の世の中は道具で技術を補っていて、縄文時代は技術で道具を補っているとも勝手に思っています。道具も便利ですが、おなじくらい技術も便利だと思うので、おおくの技術を得たいと思います。

雨のキャンプで学んだこと
ボーイ隊　金子裕亮

ボーイ隊で２回目の夏キャンプ。今年は、毎日のように雨が降り、キャンプの中で困ったことがいくつもあった。そこから、色々なことを学べた。

１つ目は、マキの拾い方、置き方だ。今回はサイト周辺が針葉樹林だったため、まずはそこからマキ拾いを始めたが、隊長のはなしのとおり！少し奥に入った広葉樹林の方には針葉樹林よりも細く、かわいたマキが落ちていた。

また、集めたマキを地面から浮かせて保管しないと、湿って使いにくくなってしまうのは以前から知っていたが、雨の日は特に、湿り方が著しかった。そのため今回はぼくの経験上では初めて、マキ置場を造った。

２つめは、火のつけ方と、それに関連するものの保管についてだ。
今回のキャンプで１番厳しかった火つけは、新聞紙もマキも湿っていて、とても辛かった。

キャンプファイヤーのように組んだり、とても細いマキを新聞紙が見えないほど置いたりしてみたが、なかなか点火できず、それによって食事の時間も遅れてしまった。

新聞紙やマッチの保管については、僕はビニール袋入れ、防水しているつもりだったが、それでもまだ湿っていた。きちんと防水することの大切さが、身にしみてわかったキャンプだった。

３つ目はトイレのことだ。
トイレのことは、雨とはあまり関係ないが地面に穴を掘ってトイレにするのは、僕は初めての体験だった。
大きい方は、リーダーがつくってくださり、使いやすかったが、小さい方は４日目あたりで猫砂がとけてしまい、風向きによっては悪臭もした。
これからトイレをつくることがあったら、もう少し工夫をしたい。

今年のキャンプで学んだことは、まだ他にもある。
これで、雨のキャンプを乗り切る力が少しついたと思う。
これからのキャンプでも、今回の知恵を生かしていきたい。

今年の夏キャンプ
ボーイ隊　佐々木知紘

今年の夏キャンプは山梨県の白州で８月 10 日から８月 15 日の６日間行われました。僕は今回次長としてこのキャンプに参加しました。

最初はみんなに指示がきちんとできるか不安でした。

サイト地についたらまずサイトの場所を決めて設計図を書きました。

２日目は夜に多摩３団と合同キャンプファイヤーをしました。

僕たちはその日の朝にやった「バカゲーム」というのをやりました。それが意外にウケたのでよかったです。

３日目は日向山にハイキングに行きました。山頂は登山道とは違ってとてもきれいでした。

４日目は川遊びの予定でしたが、夜に雨がふったので中止になってしまいました。

５日目はリーダーたちと晩餐会をしました。僕はメインディッシュ係になってので、玉ねぎと鶏肉のワイン蒸しを作りました。とてもおいしくできてよかったです。

６日目は徹営でした。朝からの雨もあって、徹営に時間がかかってしまいました。次回のキャンプは早くできるといいと思います。

今回のキャンプでの反省は指示と仕事のどちらかしかできなかったことです。

これからもこのような場合がたくさんあると思うので、気をつけていきたいと思います。

夏キャンプの思い出
ボーイ隊　片山優

夏キャンプでは、色々な事がありました。中でも大変だったのが、まきひろいと火起こしです。

まきひろいは、６日間毎日降ったのでかわいていなかったりして、火がつきにくかったです。また新聞紙もぬれていて、点かなかったり、マッチが湿っていたりして、大変でした。

また、夜に雨がふってテントのひもがゆるんでいたりして、ペグを打ちなおしたり紐をはるのを毎朝やったので大変でした。でも、料理はおいしかったです。ポリタンを運ぶのも大変で、10Kg ぐらいあるので少しずつ進みました。と中帰りたくなる時もあったけど、楽しく過ごせて良かったです。

また行きたいです。

ボーイスカウト
ボーイ隊　齋藤海斗

１日はおもいにもつをはこんでてんとをつくっててんとふらいをつくってしょくとうにいってりょうりをつくったのはつかれたけど、じぶんでりょうりしたのはひさしぶりでした。

２日朝５時 15 分しょくとうでりょうりをしました。

まきひろいでいっぱいひろうのがたいへんでした。

そしてもーにんぐげーむをやって昼ごはんをたべてそしてよるごはんを食べてねました。

しょくとうとまきひろいがけっこうたいへんでした。

カブ隊夏キャンプ
カブ隊　千葉修士

まず、山の神の謎のメッセージを探るために高尾駅に集合した。そして９時３０分に宿泊先の緑と太陽の丘キャンプ場に到着した。１日目は、山の神に会うためのネッチリングを作った。そして、その日のゴールデンバー会議では、もっとチーム力を高めたりするためにどうすればいいかをみんなで考えた。

そして、２日目には、１日目に作ったネッチリングを付けて山の神～富岡に行ったが山の神は留守だった、寺にジュースが置いてあった。そのジュースをみんなで味わって、その夜山の神から LINE がきた。その内容は、みんながもし仲が良かったら３日目のキャンプファイヤーに行ってもいいでござる、と書いてあった。そして、３日目料理コンテストでナンを作ってキーマカレーといっしょに食べた。そして２時くらいに秋山川で遊んだ。そしてマスつかみをしてニジマスを４匹つかまえることができた。その夕食にニジマスやヤマメ、アユをホイル焼きで食べた。４日目には、片付けやキャンプ場に感謝の気持ちを残して夏キャンプは終了した。ついでに２日目の阿夫利山ハイキングでミヤマクワガタをつかまえた。最終的にキャンプファイヤーで山の神が出てきて、ひみつの宝を手にすることができて、そのメッセージを確認することができたが、山の神に正体は謎のままだが予想では柏倉リーダーだと思う。なぜなら、参加者リストで７月２７日７月２８日７月２９日７月３０日と書いてあるので怪しいと思った。

三泊四日の夏キャンプ
カブ隊　石森圭登

ぼくは夏キャンプでこんな事をしました。
一日目は「ネッチリング作り」をしました。
ぼくは、１０こ作りました。
自分のと他人のを作りました。
二日目は「ハイキング」と「秋山温泉」に行きました。
ハイキングはつかれました。
温泉は気持ちよかったです。
三日目は、「料理コンテスト」と「山の神」をよび出したりしました。
料理コンテストでは３位をとりました。
辻剛隊長の顔を作りました。
山の神が夜プログラムで、げきとサンシャイン池ざきネタのマネと、空前絶後のデンリーダー隊長リーダーのしょうかいをしました。
一組のげきは「鉄マット太ろう」でした。
四日目はそうじ、ほうきとぞうきんでバンガローをそうじしました。また来たいです。

夏キャンプの思いで
カブ隊　上杉尚央

キャンプ１日目たかおえきまちあわせ、にもつを車におくのがつらかった。つりばしがこわかった。そして、バンガローにはいったら、バルサンにのどをこうげきされた。キャンプ２日目は、山の神にあいに行くためにあふり山にのぼって、山の神からチュウペットをもらった。そのあと、秋山温せんにいってふろにはいって水ふろがつめたかったです。

キャンプ３日目のあさにマスクをかぶった人と朝のたいそうをした。その後りょうりコンテストで、たいちょうのかおのナンを作った。そして、水遊びで、カニをつかまえた。その後、マスづかみでリーダーにつかまえ方をおしえてもらって１ぴきとった。そして夜キャンプファイヤーで銀マットたろうをやった。そして山の神がボールをわたしてくれた。キャンプさいしゅう日は、バンガローをそうじした。

ボーイスカウト夏キャンプ
カブ隊　千葉裕也

ぼくが一番たのしかったのは、三日目のマスつかみです。さいしょは、ぜんぜんみんなつかまえられなかったのです。えいたろうくんのお父さんにとってもらったけど、バケツにいれようとしたときに、すべっておとしてしまいました。そのあと、どんどんみんなはとれていたのですが、ぼくは、ぜんぜんとれなくてさいごに一ぴきとれました。

二日目は登山をしました。さいしょはきゅうで、あとはたいらなところが多かったです。あるいていたときに、だいごくんがきをけったらミヤマクワガタがおちてきました。

夏キャンプの思い出
カブ隊　近藤淳成

最初は、けい王線の高尾駅の改札にしゅう合しました。その後ＪＲの電車ＪＲ中央本線にのりました。上野原駅でおりました。バスにのり秋山保育園で、おりました。

一日目は、ネッチリングを作りました。

二日目は、ハイキングをしてそのご秋山温泉の水ぶろに５分くらい水ぶろにはいっていました。

三日目は川遊び、マスづかみキャンプファイヤーなどたのしいことがたくさんありました。

キャンプファイヤーで山神がきました。

キャンプの思いで
カブ隊　酒場優樹

ネッチリングを作り、山の神をおびきよせた。ハイキングがたいへんだったけど山の神にあいにいけてたのしかったです。マスをつかまえられてよかったです。川あそびが楽しかったです。りょうりコンテストでナンが作れてよかったです。山の神がおびきよせてよかったです。秋山温せんに入った。きもちよかったです。キャンプファイヤーが楽しかったです。

カブキャンプ
カブ隊　大山仁平

ぼくは、カブキャンプでやったことをせつめいします。

朝、５時３０分におきました。

高お駅にしゅう合したのは、７時にとうちゃくしました。

中央本線にはじめてのったので、こうふんしてしまいました。マスつかみでは、５ひきもとりました。

ハイキングで山のかみにあいに行きました。

山のかみの方にアイスのごほうびがおいてあり、みんなでのみました。

そのアイスはどうやらとけてしまい、ジュースになってしまいました。

さいしゅう日にバンガローのそうじをしてピカピカになりました。

カブスカウト。キャンプ
カブ隊　滝瀬翔太

ぼくわ、カブスカウトのキャンプにいきました

しゅうごうば所は高お駅に集合しました。

一日目にネッチ作りをしました。へやにさいしょにはいったときにヴァルサンでくさくて中に入れませんでした。

二日目はハイキングでしたハイキングはかなり急な道やせまくて石をつかんでいく道があって少しつらかったです。でもだれもけがをしなくてよかったです。

三日目に川あそびとマスつかみ料理コンテスト、キャンプファイヤーをやりました。料理コンテストではしょうをとれませんでした。ざんねんでした。川あそびはカニがとれました。マスつかみではばくは一ぴきしかとれなかったけどちゃんと三五ひきとれました。キャンプファイヤーはギンマットたろうをやりました。

この人が山の神!?

ぐうぜんぜつごの ちょうぜつどとうのキャンプ
カブ隊　桑原大瑚

ぼくたちカブスカウトは、みどり太ようのキャンプ場に行きました。何日かと言うと七月二十六日木曜日です。一日目は何をしたかと言うと、山の神に会うための物です。それは何かと言うと、革のネッカチーフです。ぼくは作って、大せいこう、でした。２日目は、ハイキングでした。と中で、アメをもらいました。山はとてもきゅうでした。ぼくは四ばんめにさんちょうに行きました。山の神の家に行ってもいませんでした。だけど、ジュースがおいてありました。それをみんなで、のみました。そしてそのまま秋山おんせんに行きました。ろてんぶろに入って、みんなであそびました。ほかにも、水ぶろやふつうのふろにも入りました。そしてみんなであがってぎゅうにゅうを、みんなでのみました。ぼくは、ふつうのぎゅうにゅうをのみました。それでバンガロンに帰りました。それで、みんなでばんごはんを食べました。３日目は、なんカレーを作りました。そしてぼくはつじたいちょうの顔をさいげんしろと言うもくひょうでゆうしょうしました。とてもうれしかったです。その次は、川あそびをしました。みんなではまちゃんをしゅう中こうげきでみんなこうげきしていました。ほかにもつじたいちょうやあんどうリーダーをみんなねらっていました。その次はマスつかみをしました。ぼくはかごを使ったり人にてつだってもらったけど、３ひきつかまえました。そしてみんなで力をあわせてぜんぶのマスをつかまえました。スイカを食べました。そしてシャワーをあそびました。かみをあらいました。あと体もあらいました。一じてきには体の、あせをながすことができました。その次は、ゆうごはんを食べていっぱいれん習をしてきたげきをキャンプファイヤーでみんなにひろうしました。あとサンシャインいけざきのマネ。

色いろあったカブキャンプ
カブ隊　石崎瑛太郎

ぼくは、カブスカウトのキャンプに、はじめていってきました。
みどりと大ようのおかというとこでした。楽しかったです。とくにキャンプファイヤーが楽しかったです。みじかい間でしたがとても、いいけいけんになりました。１日目は、ネッチリングをつくりました。ぼくは、賞をもらいました。それに賞は２こもらいました。ごはんを食べてみたらすごいおいしかったです。オニオンリングは、すごいおいしかったです。カレーも、すごいおいしかったです。マスつかみをやりました。カゴをつかうとすごくとりやすかったです。４回目は山のかみにあえてうれしかったです。りょうりコンテストで２位になりました。うれしかったです。二つか目ハイキングにいきました。ハイキングはとてもきついルートでした。でもちょうじょうまでいきました。あめをもらいました。てんけんは全部ごうかくでした。このキャンプでやったことをいかして、ほかのこともいかしてみたいです。山のかみからボールをもらいました。そのなかからこえが、きこえたそうです。さいごのごはんはかきそばでした。ごはんを、つくるのがとてもはやかったです。パンもつくりました。たのしかったです川ではまざきリーダーをしゅうちゅうこうげきしました。川は、楽しかったです。山のかみは、かしはくらリーダーのかのうせいが、いちばんたかいです。よそうが、あたったらいいなと思いました。山のかみのしょうたいは、まだ、分かりません。はやく分かると、いいなーと思いました。

ビーバー隊　夏のフォトグラフ

夏恒例！流しそうめん

沢ガニとり

暑さも吹き飛ぶ、プールあそび